

萩ジオパーク

萩ジオパーク推進協議会

| 2024年8月31日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

推進協議会だより vol.114

「夏休み!萩ジオパーク行きました😊」



猛暑でも子どもたちは元気いっぱい!
萩ジオパークでたくさん遊び、学びました。



夏休み体験プログラム

今年は定番のプログラムに加え、越ヶ浜・巖島神社の管弦祭の華やかな飾りつけを楽しみながら現地を巡る『管弦祭見学ツアー』や須佐ホルンフェルスそばの「つわぶきの館」で『ミニ夏祭り』を開催しました。

定番のプログラム、『火山の磯たんけん』では今年も家族での参加が多く、こどもも親も夢中で海の中の生きものを探していました。

『ミニ夏祭り』では、すきギンチャクづくりや竹の水でっぼう射的などを楽しんでいただきました。すきギンチャクづくりを楽しまれたお客様からは、「目の前の須佐ホルンフェルスの風景を見ながらそれを柄にすることが出来て、一番いいお土産になりました」と喜びの声をいただきました。

今年も記録的猛暑となりましたが、各プログラムを楽しんで頂けたのではないかと感じました。



「大地の日」を見島・むつみで開催!

大地の日を見島(8/10)、むつみ(8/18)で開催しました。

見島では初の開催となりました。じつは7月20日に開催する予定でしたが、当日は大雨のため8月10日に延期しての開催となりました。延期にも関わらず、12名の方がご参加くださり、参加者からは「見島には初めて行きましたが素敵な場所だった」、「島の成り立ちについて解説が分かりやすく、新たに興味がわいた」などの感想をいただきました。8月10日はちょうど宇津観音の「千日詣りの日」で、この日お詣りすると千日分の御利益があるといわれています。もちろんお詣りさせていただきましたので、参加者の皆さんは千日分の御利益にあずかることができるのではないのでしょうか。



貴重な見島牛も現地で見学!牛と記念撮影

8月18日はむつみでの開催でした。地元の小・中学生を中心に来場があり、むつみの地形模型の作成や、火山実験などを楽しんでいただきました。中には各ブースを訪れながら、2時間以上の長時間楽しんで帰られた方も多数いらっしゃいました。



広島の中学生の萩ジオパーク見学

8月6日(火)、広島市の中学生13名が笠山、須佐ホルンフェルス、壘ヶ淵を探訪し、伊藤が案内をしました。引率の先生から7年前に「龍が通った道」の案内を依頼された縁でお声かけいただきました。1泊2日の地学部山口巡検として計画され、前日は菊川町の化石採集、秋吉台散策、直前は景清洞見学、それから萩へと盛りだくさん。笠山の黒い溶岩と噴火口、須佐壘岩のシマシマの崖と貝化石、そして壘ヶ淵の柱状節理、と定番実験を交えて紹介しました。駆け足での案内ではありましたが、実物を目に、少しでも記憶に残っていればいいなと思いました。



山口市各地で「こども地球の学校」開催

昨夏に山口市平川地域で行った小学生向けイベント「平川こども地球の学校」を、今年は平川、阿東、佐山の3地域で開催しました。

昨年に引き続き平川で開催した「平川こども地球の学校」は、火山、川、地震などの地球の活動で大地ができたり変化する仕組みを、4つの実験コーナーで子どもたちに学んでいただきました。今年も山口大学の楮原准教授と教育学部の学生さんたちにご協力いただきました。学生さんたちが準備したコーナーは、小学1～6年生の子どもたちでも専門的な内容を理解できるように解説内容や実験、小道具がとても工夫されており、私たちも勉強になりました。学校の先生を目指す学生さんたちにとっても、小学生と接する機会は貴重のようで、良い経験になったようでした。

阿東と佐山では、1時間目「火山のしくみ」と2時間目「地層のしくみ」で大地ができる仕組みを学び、最後に3時間目「自分の地域の地形模型づくり」をして、大地の成り立ちと人の暮らしの関わりを学ぶという、授業形式で実施しました。佐山ではキャンセル待ちになるほどの人気で、人口がそれほど多くない地域にも関わらずたくさん子どもたちに参加していただきました。

3地域とも、それぞれの地域交流センターからご依頼をいただいて実施したものです。昨年の平川の事例を山口市の地域交流センター間で情報共有していただいたことで興味を持ってもらえたそうです。平川と佐山は萩ジオパークのエリアの外ですが、こうして大地に目を向けることの大切さが伝わり、呼んでいただけることはとても嬉しいです。



大阪の高校生の 萩ジオパーク見学



8月22日（木）には、大阪にある追手門学院大手前高校の生徒さん達が地学旅行で萩ジオパークに来てくださいました。前日には Mine 秋吉台ジオパークで秋芳洞や秋吉台を堪能してきたそうです。萩で一泊の後、半日たっぷり萩ジオパークを体感していただきました。

早朝、朝食前に城下町散策で三角州や砂丘の地形を利用した町並みを堪能してもらい、朝食後は笠山に移動して実験や野外観察を通して城下町を支える火山の秘密に触れてもらいました。笠山山頂の絶景に歓声が上がったり、海岸の溶岩の上で日本海の飛沫を浴びて盛り上がったり、存分に楽しみながら学びを深めていただけたようでした。

「大学生が須佐の地質を調べています」 報告会に参加しませんか

今年度の山口大学理学部地球圏システム科学科の3年生24名は須佐高山で野外実習を行います。3月に1週間、9月に1週間、須佐に泊まり込み、研究を行います。9月の調査開始に合わせて、これまでの成果発表を下記のとおり行います。須佐の大地の成り立ちを研究者の卵から気軽に話を聞いてみませんか。

日時：令和6年9月16日(月・祝)午後1時～5時(時間内出入り自由)

会場：萩市須佐公民館講座室

内容：大学生が班ごとにブースを作って実物や地図を用い、調査研究結果を説明します。

備考：参加費無料、事前申込不要

問い合わせ：萩市ジオパーク推進課(0838-21-7765)



わっきー教授のジオ・ワールド ④ ドーバー海峡の崖（英国）

お示したのは、英国グレートブリテン島の南部の海沿いの町、ブライトンの海岸の写真です。ブライトンは、日本代表の三苫薫選手がサッカーで活躍しているチームがある場所ですね。欧州一のゲイの街でもあります。ブライトンの南側に広がる海は、英国とフランスの間に横たわるドーバー海峡です。このドーバー海峡沿いの海岸線には、写真のように真っ白な崖が延々と続いています。この崖を構成している岩石は、チョークと呼ばれる未固結の石灰岩で、半田地区や秋吉台の石灰岩と同じ炭酸カルシウムで出来ています。半田地区や秋吉台の石灰岩は、紡錘虫（フズリナ）などの殻で出来ていますが、チョークは微小な円石藻（ココリス）の化石が無数に集まって出来ています。チョークは、黒板に使うチョークの語源にもなっていますし、日本語では、「白亜」とも呼ばれています。今から約1億年前の白亜紀という時代の名前は、この崖に由来しています。佐々並カルデラや長門峡の崖や溪流を作っている岩石、モドロ岬の水玉模様の岩石など、萩ジオパークの1番古いマグマの岩石の大半は、このチョークが出来た時代にできたのです。



ドーバー海峡のチョークの崖
(わっきー撮影)



ブライトンの夕焼け
(わっきー撮影)



ブライトンの位置
(Whereigo.com)



円石藻
(国立科学博物館 HP)

9月の予定

●萩ジオパーク「大地の日」 9月15日(日) 10:00～14:00 場所:ABUキャンプフィールド 内容:野外でのアウトドア体験や、テント内での実験や工作体験 地球を食べる食堂(要申込) 主催:萩ジオパーク推進協議会 (0838-21-7765)

●「大学生が須佐の地質を調べています」報告会 9月16日(月・祝)13:00～17:00 内容:上記参照。 問い合わせ:萩ジオパーク推進課(0838-21-7765)

○geoとも(萩ジオ友の会)定例会 9月21日(土) 9:30～16:00 集合場所:道の駅ゆとりパークたまがわ 内容:現地探訪「中世のまち益田市でジオ巡り」 主催・問い合わせ:geoとも 桂 (0838-21-7173)、中西 (080-8747-9383)

●笠山山頂展望台「鳶ノ巣カフェ」営業時間の延長 9月26日(木)～28日(土) 内容:通常16時(L.O.15:30)までの営業時間を17時(L.O.16:30)まで延長する実証実験。 問い合わせ:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)

